

平成27年度

総務課事務報告

行 財 政 係
庶 務 係

行財政係・庶務係

1. 行政関係

日本の人口は、近年横ばいであり人口減少局面を迎えている。2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い水準になると推計されている。

本村においても同様に、人口は一貫して減少傾向にある中、高齢独居世帯の増加、世帯構成の変容、地域コミュニティの希薄化が進み、家族間の相互扶助や地域活動に少なからず支障をきたしている。

このような状況に加え、本村では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、雇用の創出、移住・定住の促進、出産・育児環境の充実等を図るための戦略が掲げられ、これらの戦略に基づいた各種施策を全庁的に取り組んでいく必要があるが、これに対応するための人員や財政の不足が懸念される。

以上のことから、厳しい財政状況の中でも安全かつ良質な公共サービスを確実、効率的に実施できるよう、各課で所管する事務事業を見直し、統合できるもの、廃止できるもの又は民間へ委託できるもの等を洗い出し、本村の実情に応じた行政改革を推進するとともに、限られた人員で最大限の成果が発揮できるよう、職員の育成に努めなければならない。

2. 人事関係

自治体の行政組織の見直し等、議員、職員、各種委員をはじめ自治行政に関連する人事面を取り巻く環境は急激に変化している。

これまで、集中改革プランにおいて定員管理や給与是正を行った。また職員においても階層別研修、専門研修、自治大学研修などへ積極的に参加している。さらに、主事主査級・係長級などの自主研修会を定期的を開催し、職員提案を行うなど、職員相互に資質の向上を図っている。

平成27年度は、採用者2名に対して退職者が4名であったことから職員数は減少となった。近年団塊の世代が徐々に退職し、若手職員の増加により職員の構成が目まぐるしく変化している。さらに、育児休業等の長期休暇取得の増加も見込まれることから、今後は適正かつ臨機応変な人員の配置、また、人材育成などに努力していかなければならない。

3. 財政関係

昨今の日本経済は、アベノミクスの下、長引くデフレからの脱却と経済の再生に向けて前進し景気も緩やかな回復基調が続いているが、地方経済に波及するまでは至っておらず、平成27年度の税収も前年度比0.42%の減となっている。本村においても、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し地域経済の立て直しや少子高齢化の進展・家族形態の変容等による複雑かつ多様化する住民ニーズへの対応が求められ今後の財政需要の上昇が懸念される。

このように、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されるため、引き続き、既存事業の見直しを行い、創意工夫を凝らした事業を展開することで、限られた財源で効率的な財政運営を図る必要がある。

●平成27年度財政指標

指標 \ 年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
標準財政規模	1,954,227千円	1,905,939千円	1,953,617千円
財政力指数	0.127	0.130	0.130
実質収支比率	15.1%	12.0%	13.4%
経常収支比率	84.1%	89.7%	88.0%
実質公債費比率	8.9%	7.9%	9.2%
将来負担比率	5.9%	—	—

●歳入の状況

区 分	決算額 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
地 方 税	205,617	6.17	△ 0.42
地 方 譲 与 税	36,230	1.09	4.71
利 子 割 交 付 金	266	0.01	△ 15.02
配 当 割 交 付 金	967	0.03	△ 14.73
株式等譲渡所得割交付金	825	0.02	△ 27.31
地方消費税交付金	59,074	1.77	82.18
自動車取得税交付金	4,887	0.15	58.36
地方特例交付金	331	0.01	△ 16.83
地方交付税	1,689,880	50.74	3.22
交通安全対策特別交付金	733	0.02	4.12
分担金及び負担金	29,512	0.89	8.58
使 用 料	70,058	2.10	△ 2.91
手 数 料	3,073	0.09	5.49
国 庫 支 出 金	309,684	9.30	9.54
県 支 出 金	202,357	6.08	△ 3.31
財 産 収 入	76,453	2.30	56.67
寄 附 金	1,213	0.04	△ 20.82
繰 入 金	186,590	5.60	162.01
繰 越 金	265,056	7.96	△ 12.59
諸 収 入	18,139	0.54	△ 63.78
地 方 債	169,630	5.09	△ 12.38
合 計	3,330,575	100.00	

●歳出の状況 (目的別)

区 分	決算額 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
人 件 費	452,422	14.80	2.09
物 件 費	493,300	16.13	4.43
維 持 補 修 費	28,679	0.94	67.12
扶 助 費	504,566	16.50	3.80
補 助 費 等	372,622	12.18	15.53
公 債 費	353,002	11.54	△ 7.92
積 立 金	235,142	7.69	204.95
投資及び出資金・貸付金	5,000	0.16	0.00
繰 出 金	400,223	13.09	0.46
投 資 的 経 費	213,151	6.97	△ 31.21
合 計	3,058,107	100.00	

4. 管財関係

●公有財産貸付状況

【土地】

(有償貸付)

所在	地番	現況地目	面積 (㎡)	貸付料 (円)
万江甲字柳野	623-2	山林	296.00	8,700
他 2 3 件	合計		9760.00	580,884

(無償貸付)

所在	地番	現況地目	面積 (㎡)
山田丁字辻	26-1	宅地	984.76
他 7 件	合計		9521.94

【建物】

(無償貸付)

所在	構造	床面積 (㎡)
山田丁字辻26番地1	木造瓦葺平屋造	319.08
他 3 件	合計	1355.20

●村有財産取得状況

【土地】

所在	地番	現況地目	面積 (㎡)
万江乙字濁毛	30	宅地	392.50
合計			392.50

【建物】

所在	種類及び構造	床面積 (㎡)
万江乙字濁毛30番地	厩舎 (木造瓦葺平屋造)	125.45
	炊事場 (木造瓦葺平屋造)	16.36
	便所 (木造瓦葺平屋造)	6.61
合計		148.42

●村有財産払下げ状況

【土地】

所在	地番	地目	面積 (㎡)
山田丁字藤野	2477-1	宅地	1,063.48
	2478-3	宅地	1,383.15
	2470-14の一部	雑種地	5,350
合計			7,796.63

【建物】

所在	種類及び構造	床面積 (㎡)
山田丁字藤野2477番地 1	事務所 (鉄骨造瓦葺メッキ鋼板葺平屋造)	288.00
	集会所 (鉄骨造瓦葺メッキ鋼板葺平屋造)	240.00
	車庫 (鉄骨造瓦葺メッキ鋼板葺平屋造)	57.66
山田丁字藤野2470番地13	倉庫 (鉄鋼造スレート葺平屋造)	1,000.00
合計		1,585.66

●山江村有財産審議会

開催数：4回

内容：①藤野工業団地内の土地の売却価格について

②空き家物件の購入価格について（一回目）

③空き家物件の購入価格について（二回目）

④公営住宅建設予定地の買取価格について

職名	氏名	任期	備考
会長	竹本 修二	平成 27 年 4 月 1 日 平成 30 年 3 月 31 日	学識経験者
委員	藤野 正信	平成 27 年 4 月 1 日 平成 30 年 3 月 31 日	区長会
委員	中村 賀津男	平成 27 年 4 月 1 日 平成 30 年 3 月 31 日	農業委員会委員
委員	上村 正通	平成 27 年 4 月 1 日 平成 30 年 3 月 31 日	農業委員会委員
委員	中村 直人	平成 27 年 4 月 1 日 平成 30 年 3 月 31 日	固定資産評価審査委員会委員
委員	内川 初子	平成 27 年 4 月 1 日 平成 30 年 3 月 31 日	固定資産評価審査委員会委員

5. 自衛官募集事務

自衛隊は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため直接侵略及び間接侵略に対し国を防衛することを主任務とし、必要に応じ災害派遣等を実施して公共秩序の維持にあたるとともに、国際平和維持活動にも積極的に参加している。

人吉球磨管内の募集実績は、18名（前年度比△3名）の入隊で、本村からの入隊者は1名（昨年度比△1名）という結果だった。今後においても、広報活動を活発に行い、人吉地域事務所との連携により優れた人材を確保できるよう募集事務に努めなければならない。

（1）近年の入隊者数

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
山江村	3	0	3	2	1
球磨管内	15	18	40	21	18

（2）本村からの入隊者

平成27年度においては、自衛隊候補生1名、という実績を上げている。

6. 交通安全

平成27年中の全国における交通事故死者数は、4,117人（前年比+4人）と、増加している。そのうち、熊本県下においては、交通事故死者数は79人（前年比+3人）となっている。

本村において平成27年交通事故発生件数は1件（前年比△2件）である。

熊本県下の交通事故の特徴として、高齢者の事故の増加、飲酒運転人身事故の増加が挙げられる。

本村の取組みでは高齢者や村内小学校、保育園に対する交通安全教室を意欲的に行い、反射タスキの配布、交通安全教育講話を実施し、交通事故防止の意識高揚、啓発を図った。

（1）主な交通安全推進活動

- 4月 村内小学校交通安全教室
春の全国交通安全運動（早朝タッチ運動・街頭指導）
章鹿倉保育園交通安全教室
- 6月 万江小学校自転車教室
- 9月 秋の全国交通安全運動（街頭指導）
- 10月 交通指導員研修
- 11月 村内カーブミラー清掃及び危険箇所パトロール
- 12月 年末年始の交通安全街頭指導
- 1月 山江村交通安全祈願祭
- 3月 熊本県交通指導員研修会
ダミーポリスの更新

※交通指導員による交通安全日（毎月1日・10日・20日）の定例街頭指導

(2) チャイルドシート購入補助金実績

件数 11件
補助金額合計 79,000円

7. 消防防災関係

(1) 消防関係

消防団の使命は、地域住民の生命、財産を守ることを責務としており、日頃から緊急時に備えた団員の訓練、火災予防活動及び災害防止等のための啓発が必要であることから、秋季規律訓練、春季及び秋季の火災予防活動、防火パレード及び防火講習会を行った。

団員確保については、地域における防災力の中核を担う組織として期待される中、消防団員の減少は全国的な問題となっており、本村においても団員の確保は重要な課題であるが、積極的な団員確保に努めた結果、定員を上回る団員を確保することができた。

① 消防団員現有規模

ア 定員 200名
イ 団員数 202名（昨年度比2名増） 退団15名、入団17名

② 出動実績

ア 平成27年5月27日（水） 午前5時30分頃 建物火災
イ 平成27年8月5日（水） 午後6時頃 林野火災

③ 第4回山江村消防ポンプ操法大会

平成27年6月7日に山江村役場前広場において、第4回山江村消防ポンプ操法大会を開催。6箇分団が出場し、第4分団が優勝した。

④ 第22回球磨人吉消防ラッパ吹奏競技大会

平成27年12月6日にあさぎり町須恵文化ホールで開催され、山江村消防団ラッパ隊7名が出場。大会結果は、第2部個人の部で第2位に入賞。

⑤ 消防団幹部

平成27年4月1日現在

職名	氏名	職名	氏名
団長	田原 龍太郎	第4分団長	平川 勝
副団長	立道 徹	第5分団長	秋山 慶一郎
副団長	山田 盛輝	第6分団長	西村 智
第1分団長	迫田 教文	第7分団長	坂田 諭吉
第2分団長	高山 裕治	第8分団長	日熊 清尊
第3分団長	草場 浩介		

⑥ 構成及び装備等

平成27年4月1日現在

分団	団員数	積載車	ポンプ台数	防火水槽	消火栓
1	26	1	2	9	14
2	33	1	2	23	15
3	17	1	2	12	9
4	15	1	2	8	21
5	24	1	2	18	9
6	7	1	2	7	7
7	13	1	2	9	9
8	5	1	2	5	5
本部	23	1	2	—	—
機能別団員	39	—	—	—	—
計	202	9	18	91	89

(2) 防災関係

① 防災会議

大雨等における水害や土砂災害に対して、消防団、警察、消防、自衛隊等の防災関係機関と連携体制を構築するため、防災連絡会議を開催した。

期日：平成27年6月1日（月）

出席者：68名

② 災害対策本部・警戒本部

ア 災害対策本部設置 1回（H27.8.25～31）

イ 災害警戒本部 1回（H27.8.24～25）

ウ 一般警戒体制 4回（H27.6.3、6.11、7.1、H28.1.23～24）

③ 避難勧告等の発令基準の見直し

平成26年9月に内閣府が作成した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」に基づき、既存の発令基準の見直しを行った。

【見直しの概要】

●対象とする災害を「土砂災害」及び「水害」に特定

●対象とする区域として、土砂災害では「土砂災害（特別）警戒区域」、水害では「浸水想定区域」に設定。

④ 避難所の見直し

指定緊急避難場所及び指定避難所のうち、土砂災害警戒区域内に所在する施設について、指定の取消しを行った。

ア 指定緊急避難場所の指定の取消し 5施設

イ 指定避難所の指定の取消し 1施設

⑤ 地域版防災マップ作成事業

- ア 事業期間 平成27年～平成30年度
- イ 事業費 628,512円
- ウ 実施地区 第2区、第3区、第8区

⑥ 避難所備蓄物資購入事業

- ア 事業費 267,408円
- イ 購入内容 非常食672食、救急セット4セット、難燃性毛布30枚

8. 選挙関係

(1) 選挙管理委員会

① 委員

任期：平成24年12月23日～平成28年12月22日

番号	職名	氏名	住所	備考
1	委員長	鏡山和人	山田丁473-1	
2	委員	城子サダ子	山田丁2290	委員長代理者
3	委員	西健治	山田丙681	
4	委員	谷川安照	万江丙71	

② 会議

- ア 定時登録に伴うもの 4回
- イ 選挙執行に伴うもの 15回

(2) 選挙管理執行

① 熊本県議会議員一般選挙

- ア 選挙期日 平成27年4月12日
- イ 選挙人名簿登録者数

選挙人名簿登録者数		
男	女	計
1,355	1,563	2,918

- ウ 選挙結果 無投票

② 山江村議会議員一般選挙

- ア 選挙期日 平成27年4月26日
- イ 選挙人名簿登録者数

選挙時登録者数			当日の有権者数		
男	女	計	男	女	計
1,357	1,560	2,917	1,330	1,535	2,865

ウ 選挙結果

投票率 88.34%

候補者別得票数			有効投票	無効投票等	投票者総数
秋丸やすひろ	はらさき利且	立道とおる	2,519	12	2,531
232,732	101	251			
岩山正義	松本佳久	西たかつね			
130	197	187			
よこたに巡	もりた俊介	谷口よしゆき			
452	280	152			
赤坂おさむ	秋丸光明	なかたけ耕一郎			
171	170,267	195			

③ 熊本県知事選挙

ア 選挙期日 平成28年3月27日

イ 選挙人名簿登録者数

選挙時登録者数			当日の有権者数		
男	女	計	男	女	計
1,325	1,542	2,867	1,316	1,536	2,852

ウ選挙結果

投票率 71.39%

候補者別得票数			有効投票	無効投票等	投票者総数
寺内大介	かばしま郁夫	幸山政史	2,030	6	2,036
50	1,347	633			

9. 乗合バス「まるおか号」

乗合バス「まるおか号」は、廃止となった路線バスの代替公共交通手段として、平成18年10月の運行から9年を経過したところである。

平成27年度の年間利用者数は、延べ3,640人（前年度比△1,234人）に対し、運行補助額は3,654,900円と（前年度比△1,122,970円）となった。

まるおか号の運行内容については、地域住民のニーズに応じた運行ができるよう定期的に見直しを行っており、道路運送法の規定により路線延長やダイヤ改正等に必要な協議の場として、山江村地域公共交通会議を平成22年1月から設置している。

また、人吉球磨地域公共交通活性化協議会において、人吉球磨地域公共交通網形成計画が策定され、平成28年度より、人吉球磨全市町村で、交通体系の再編を目指していくこととなった。

●年度別利用実績

年 度	利用者数	補助金額
平成 22 年度	7,017 人	6,974,410 円
平成 23 年度	6,883 人	6,395,200 円
平成 24 年度	5,692 人	5,242,170 円
平成 25 年度	5,840 人	5,382,380 円
平成 26 年度	4,874 人	4,777,870 円
平成 27 年度	3,640 人	3,654,900 円

1 0. 行政相談

行政サービスに関する意見や要望、苦情を受け付けるため、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員による行政相談を実施した。

相談件数は例年少ない状況であるが、住民の重要な相談先であるため、人権擁護委員による人権相談と合同で相談所を開設した。

また、行政相談週間には制度に対する住民の理解を深めるため、広報活動を実施し、普及啓発を図った。

○行政相談委員

氏名 谷川 貞義 (山田乙1番地)

任期 平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日

○相談所開設状況

期日：平成 27 年 6 月 1 日 / 平成 27 年 9 月 11 日 / 平成 27 年 12 月 4 日
平成 28 年 2 月 10 日

場所：山江村福祉保健センター「健康の駅」(6月・9月)

山江村農村環境改善センター (12月・2月)

1 1. 入札関係

入札に関する業務は、各課が発注する工事等指名競争入札により、工事請負 14 件、業務委託 8 件、物品 1 件の入札会を行った。

1 2. 人吉球磨定住自立圏構想関係

三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人口定住を促進する政策として、中心市宣言を行った人吉市と住民生活において密接な関係を有する球

磨郡 9 町村との間で、各市町村の議会の議決を経た上で、人口定住のために必要な生活機能を確保するための相互の役割分担を定めるため、「人吉球磨定住自立圏形成協定」を締結した。

さらに、中心市である人吉市において、定住自立圏の将来像及び協定に基づく具体的な取組みを示す「人吉球磨定住自立圏共生ビジョン」が平成 27 年 5 月 12 日に策定された。

1 3 . 庶務関係

庶務に関する業務は、村長室等の管理、文書等の収受、郵便物等の仕分け及び発送、外部からの電話及び来客の対応など各課及び庁舎全般に関わる業務を行った。

平成27年度業務委託・工事請負一覧

【業務委託】

業務番号	契約名	工期	契約金額	相手方	業務委託の内容
1	平成27年度 山江村公共施設清掃業務委託（第1工区）	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	1, 083, 240	㈹美研	施設清掃
2	平成27年度 山江村公共施設清掃業務委託（第2工区）	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	920, 160	ALSOK熊本㈱	施設清掃
3	平成27年度 山江村公共施設清掃業務委託（第3工区）	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	1, 099, 440	肥後クリーン	施設清掃
4	平成27年度 山江村公共施設清掃業務委託（第4工区）	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	425, 000	トータルクリーニングサービス	施設清掃
5	山江村役場庁舎消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	35, 640	ユーエム防災設備	保安点検
6	山江村体育館消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	38, 880	㈹人吉防災	保安点検
7	山江中学校消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	54, 000	ユーエム防災設備	保安点検
8	山田小学校消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	49, 680	ユーエム防災設備	保安点検
9	万江小学校消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	45, 360	ユーエム防災設備	保安点検
10	自然休養村管理センター消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	27, 000	㈹人吉防災	保安点検
11	歴史民俗資料館消防用設備点検	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	35, 460	㈹人吉防災	保安点検
12	農村環境改善センター消防用設備点検	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	25, 920	㈹人吉防災	保安点検
13	山江村アグリセンター消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	22, 680	ユーエム防災設備	保安点検
14	尾崎キャンプ場消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	25, 920	㈹人吉防災	保安点検
15	屋形多目的集会施設消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	30, 240	㈹人吉防災	保安点検
16	時代の駅むらやくば消防用設備点検業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	21, 600	㈹人吉防災	保安点検
17	山江村役場庁舎警備委託	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	780, 192	セコム㈱	警備
18	平成27年度自家用電気工作物保安管理業務委託	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	75, 168	共栄電気管理㈹	保安業務
19	平成27年度役場庁舎自動ドア開閉装置保守業務委託	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	54, 000	熊本ナブコ㈱	保守点検
20	旧選果場周辺除草作業及び運搬業務	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	54, 000	山江村シルバー人材センター	施設清掃
21	平成27年度村有地（字蕨野）測量業務委託	H27. 4. 14～ H27. 4. 30	86, 400	㈹佑都測量設計	用地測量業務
23	平成27年度山江村役場庁舎改修工事設計業務委託	H27. 8. 28～ H27. 9. 28	1, 360, 800	㈹本田建築設計事務所	役場庁舎改修工事の設計
24	平成27年度山江村防災行政無線デジタル化実施設計業務委託	H27. 10. 23～ H28. 3. 22	7, 009, 200	㈱建設技術研究所熊本事務所	デジタル防災行政無線の設計
25	平成27年度村有地分筆登記測量業務委託	H27. 10. 29～ H27. 11. 30	145, 800	㈹佑都測量設計	用地測量業務
26	平成27年度村有地分筆登記（村道県道高寺線）測量業務委託	H28. 1. 20～ H28. 2. 19	248, 400	㈹佑都測量設計	用地測量業務
27	平成27年度村有地（水道施設用地）分筆登記測量業務委託	H28. 3. 4～ H28. 3. 25	475, 200	㈹佑都測量設計	用地測量業務
28	村長公用車・スクールバス運行管理業務委託	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	6, 791, 040	つばめタクシー㈱	村長公用車及びスクールバスの運行業務
29	学校給食調理場調理業務委託	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	23, 716, 800	シダックス大新東ヒューマンサービス㈱熊本営業所	学校給食の調理業務
30	道路維持管理業務委託	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	5, 637, 600	シダックス大新東ヒューマンサービス㈱熊本営業所	道路維持管理業務

【工事請負】

工事番号	契約名	工期	契約金額	相手方	工事の内容
1	平成27年度山江村役場庁舎改修工事	H27. 10. 23～ H28. 1. 29	13, 368, 682	宮原建設㈱	防水工事、内装改修工事

(1) 職員配置表

平成28年3月31日現在

課局名	職名	氏名	課局名	職名	氏名
三役	村長	内山 慶治	健康福祉課	課長	平山 辰也
	副村長			主幹	角 畑 千穂子
教育長	大平 和明	主幹		白 川 満	
議 会	<small>課長(事務局長)</small> 新山 孝博	係長		勝原 聖美	
総務課	課長	豊永 知満		係長	尾方 路美
	主幹	一二三 信幸		係長	赤城 知美
	主幹	川瀬 光一		係長	迫田 友香
	主幹	土屋 裕子		主査	山浦 一美
	係長	白川 美生		主査	下田 真紗代
	主事	立道 和高		主査	東 俊介
企画調整課	課長	北田 愛介		主事	小崎 優介
	主幹	松尾 充章		主事	谷川 恵里子
	主幹	高橋 忍		主事	西 涼
	主幹	村 隆幸		主事	中村 安都美
	係長	有瀬 慎也		建設課	課長
	係長	川口 伸也	主幹		清永 弘文
主事	小崎 由紀恵	係長	西 義晴		
会計室	<small>課長(会計管理員)</small> 中山 久男	主査	宮田 将臣		
	係長	原 先健一	主査		中村 祐樹
	主事	高橋 かおる	主事		菖蒲 祐太朗
	主事	蕨野 絵里	農業委員会事務局 <small>幹(事務局長)</small>	迫田 教文	
税務課	課長	福山 浩	教育委員会	課長	山口 明
	係長	柳瀬 真奈美		主査	内布 有加
	主査	守 永寛		主査	村尾 映祐
	主事	加賀 美佳		主事	勝山 綾香
	主事	中村 健太		主事	菖蒲 美晴
	主事	森口 実佳		主事	簀田 竜也
産業振興課	課長	蕨野 昭憲			
	主幹	今村 禎志			
	主幹	尾方 義和			
	主査	宮原 安代			
	主査	勝山 晃嗣			
	主事	地内 優維			

(2) 新規採用

平成27年4月1日付

氏名	職名	備考
下田 真紗代	健康福祉課保健衛生係主査	
中 神 敏 浩	健康福祉課福祉係主事	

(3) 異 動

平成27年4月1日付

氏 名	新	旧	備 考
中 山 久 男	会計管理者	産業振興課長	
蕨 野 昭 憲	産業振興課長	会計管理者	
山 口 明	教育委員会教育課長	農業委員会事務局長	
新 山 孝 博	議会事務局長（課長）	議会事務局長（主幹）	昇格
土 屋 裕 子	教育委員会教育課主幹兼学校教育係長及び社会教育係長	税務課主幹	
迫 田 教 文	農業委員会事務局長	建設課主幹兼建設係長及び上下水道係長	
清 永 弘 文	建設課主幹兼上下水道係長	教育委員会教育課学校教育係長兼社会教育係長	昇格
高 橋 忍	企画調整課主幹	企画調整課企画調整係長兼商工観光係長	昇格
村 隆 幸	企画調整課主幹兼ケーブルテレビセンター長	企画調整課情報通信係長兼ケーブルテレビセンター長	昇格
尾 方 義 和	産業振興課主幹兼林政係長	産業振興課林政係長	昇格
有 瀬 慎 也	企画調整課企画調整係長兼商工観光係長	企画調整課企画調整係主査	昇格
川 口 伸 也	企画調整課情報通信係長	企画調整課情報通信係主査	昇格
守 永 寛	税務課税務係主査	健康福祉課保健衛生係主査	
村 尾 映 祐	教育委員会教育課社会教育係主査	産業振興課農政係主査	
勝 山 晃 嗣	産業振興課農政係主事	教育委員会教育課社会教育係主事	
中 村 安 都 美	健康福祉課保健衛生係主事	健康福祉課福祉係主事	
蕨 野 絵 里	会計室会計係主事	健康福祉課保健衛生係主事	

平成28年1月1日付

氏 名	新	旧	備 考
土 屋 裕 子	総務課付	教育委員会教育課主幹兼学校教育係長及び社会教育係長	
菖 蒲 美 晴	教育委員会教育課学校教育係主事	総務課行財政係主事	

(4) 退 職

平成27年5月31日付

氏 名	職 名	備 考
中 神 敏 浩	健康福祉課福祉係主事	

平成27年7月31日付

氏 名	職 名	備 考
勝 山 瞬	税務課税務係主事	

平成28年3月31日付

氏 名	職 名	備 考
土 屋 裕 子	総務課付	
福 山 浩	税務課長	